

ふれあいパーク

第4号

2006年3月27日

編集・発行 ふれあいパーク編集委員会
〒144-8621 大田区蒲田五丁目13番14号
電話 03(5744)1319

本誌「ふれあいパーク」は、ふれあいパーク活動に役立つ情報を満載して年2回お届けしています!!

活動内容を公園でアピールする

ふれあいパーク活動でのメニューも年々バラエティーに富んできています。地域とのイベントをはじめ、公園の特性を生かした独自の活動など多様です。今回はそんな「こだわり」の活動内容を紹介します。

好評!独自の「園芸講習会」

東嶺相生児童公園で活動している「嶺町新緑の会」では、毎月1回(第2水曜日)に独自の園芸講習会を実施しています。これは、専門の講師を呼んで行われる本格的なものです。現地での実習も毎月行っています。元々メンバーが園芸好きな仲間が集まりのため、内容もユニークで役立つものばかり。遠くから通ってくる人もいます。



昨年はヒョウタンづくりも

「一声運動」で親しみを!

桜の花が美しい南蒲田三丁目さくら公園で活動する「南蒲田三丁目さくら会」では、現地での活動の際にメンバーの皆が公園利用者一人ひとりに必ず声をかけて、交流を図っています。笑顔で対応する「一声運動」で、地域の人たちがより公園に親しむようになりました。時には、近所の方々が茶菓子等を差し入れに来ることもあります。

防災を認識させる公園!

西糺谷の香川沿いに位置する下袋児童公園は、約160㎡のミニ公園ですが、非常時に炊き出しができるかまどに変身するベンチや、雨水を溜め込むタンクなどユニークな施設があります。また、防災公園として地域の一時集合場所になっています。「下袋の会」では、こうした特性を生かして、活動内容の中に防災訓練を取り入れています。同グループでは公園を防災の拠点にしようと、町会や地域住民と連携して活動に取り組んでいます。大学からの視察もあつたこの公園です。



南蒲田三丁目さくら会の皆さん



非常時にはかまどに変身!

「味違つ」こだわりの清掃

平成児童公園の清掃活動は、ちょっとした「こだわり」があります。清掃後、きれいになった園内の地面に寺院の石庭と同じように、竹ぼうきで波の模様を付けています。ここで活動する「大森西二丁目三和会」の利用者へのイキナ計らいです。



地面には竹ぼうきの模様が!

公園の落ち葉で腐葉土づくり

東六郷一丁目公園/東六郷有志の会



腐葉土はここでつくられます

東六郷一丁目公園で活動中の「東六郷一丁目有志の会」では、公園での清掃活動で集めた落ち葉を腐葉土にしています。公園内にあるストックヤードに落ち葉を入れて堆積させると、花壇に使える

腐葉土となります。清掃時のやっかいものの落ち葉も、ちょっとした工夫で有効利用することができます。

手作りの腐葉土で丈夫に育った花壇の花が、清潔感あふれる公園に彩りを添えています。



発生した落ち葉は有効利用

身近な公園で野外遊び!

公園で「レクリエーション&バーベキュー大会」にぎやかに開催!

地元町会青少年部主催、ふれあいパーク活動団体共催 中央六丁目宮下児童公園

忙しい社会環境の今日、身近な所で子どもと大人とが緊密なふれあいをゆつくりできるように、平成17年11月20日(日)中央六丁目宮下児童公園において、「レクリエーション&バーベキュー大会」が開催されました。



野外での食事はおいしいな!

青空の下、会場に用意されたコンロにバーベキューが出来上がる。そこに次々と集まってきた子どもたちの元気な声があふれていました。当日は地域の青少年や児童の「子どもたち」と町会会員やふれあいパーク活動メンバーによる「大人たち」が一同に集まり、その賑やかなふれあいは一日中尽きることがありませんでした。多忙化する社会環境と少子化の影響で、世代間での交流の機会

が失われてきています。このイベントは、日常、顔を合わせてもなかなか会話することのない地域の子ともたちと大人とが、一緒に遊んだり、食事をしたりすることで、円滑なコミュニケーションを図り、スキンシップあふれる関係を深めることを目的に開催されました。他にも缶けりなどの野外遊びや昔懐かしいペー「コマ教室」など、身近な公園でのイベントに新鮮味を感じた一日となりました。



みんな集まれ! バーベキュー

手作り「割り箸」鉄砲で遊ぶ!

中央六丁目宮下児童公園で開催された「レクリエーション&バーベキュー大会」のイベントの中で、「子どもたちを対象とした「遊び方教室」は特に好評でした。当日は割り箸を材料とした鉄砲作りが行われました。輪ゴムをうまく飛ばせるように、鉄砲づくりに子どもたちは夢中でした。自分たちの手作りの鉄砲が

き上がると、それを使って射撃大会を行いました。子どもたちは大喜び! うまく狙いを定めて賞品を多くゲットする子もいました。今回の企画は市野倉北町会青少年部が主催し、ふれあいパーク活動団体「宮下児童公園六丁目クラブ」の共催で実施されました。手作り鉄砲遊びも、同町会青少年部員の方が自ら体験した遊びがベースとなっています。



上手に飛ばせられるかな!



完成した「割り箸」鉄砲

「何かが生まれそうな予感!」「悩みは共通だからこそ楽しい!」

活動に希望を抱く参加者の声、続々!

「ふれあいパーク活動いろは塾」さらば大森にて開催される

まもなく5年目を迎える「ふれあいパーク活動」。日頃の活動を通じて課題ややりたいこと、夢など様々な思いを抱いていることとあります。昨年、皆さんのそうした思いを題材に、共に語り合い、課題を解決するヒントを学ぶため、協働実験塾「ふれあいパーク活動いろは塾」が開催されました。

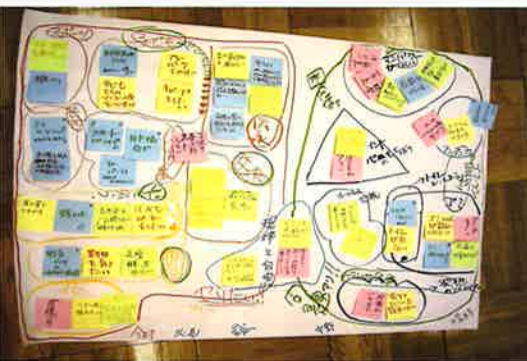
◆みんなで「ワイガヤ」!!

「これは無理、とても実現できないよ!!」「いや、やれば出来るかも・・・」「うちの町内にはこの分野で得意な人達がいるよ。」「ぜひ巻き込もうよ!!」「みんなでやれば、これは実現できそう!!」



ワークショップは「ワイガヤ」で!

カリキュラム2日目(12月3日)のワークショップでは、課題解決の妙案を探するため、参加者みんなでワイワイ・ガヤガヤ・・・!! 次々と問題や解決法が表明されました。斬新なアイデア、思わず笑いを誘う提案も含めて全てがカラフルな色紙にまとめられました。これらを共通なものに分類する作業でもワイワイ・ガヤガヤ。老若男女、多様な意見が呼び水と



アイデアのパラエティーが総結集

◆活動に生かせるカリキュラム
この「ふれあいパーク活動いろは塾」は、区民・国際交流課が主催する「協働実験塾」事業で、同課と道路公園課及び各まちなみ整備課との連携により実施されたものです。内容も、参加者が各地域でのふれあいパーク活動に生かせるようなカリキュラム構成でした。1日目の11月12日は宮城大 学副学長の大村慶一さんの羽根

催す「協働実験塾」事業で、同課と道路公園課及び各まちなみ整備課との連携により実施されたものです。内容も、参加者が各地域でのふれあいパーク活動に生かせるようなカリキュラム構成でした。1日目の11月12日は宮城大 学副学長の大村慶一さんの羽根

緊急情報

「弁当・食品がら」と「他の不燃ごみ」の分別にご協力をお願いします!

公園清掃で集めたごみは「事業系ごみ」です

◆欠かせないごみ収集運搬業務

皆さんが公園を清掃して袋に入れたごみは、家庭ごみと異なり、「事業系ごみ」として扱われます。区の収集運搬事業者は、そのごみを「産業廃棄物」として処分場まで運びます。

◆「産業廃棄物」に該当するもの

ところが、先日、この業務を行う業者が「不燃ごみ」を処分場に持ち込んだところ、「処分できないごみが混ざっている」と強く注



ワクワク・ドキドキの発表会

木ブレイパークの取り組み等の講義、同日午後はNHK番組「近所の底力」のチーフプロデューサー佐藤高彰さんより各地域での解決事例が紹介され、参加者に大好評でした。直接担当した区民・国際交流課の区民協働のスタッフは、「参加者の皆さんが今回得られたヒントを生かして、子どもからお年寄りまでが喜ぶ公園づくりのエネルギーとなれば幸いです」と期待を寄せていました。



簡単なゲームもありました



不燃ごみ
弁当がら
食品容器
包装容器
「菓子袋」などは、「一般廃棄物」です。それ以外の「不燃ごみ」は「産業廃棄物」と

意を受けてしまいました。これは「産業廃棄物」と扱われる「弁当・食品がら」以外の「不燃ごみ」が混入した状態で持ち込んだためです。収集運搬業者が繰り返し注意を受けると、処分場にごみを持ち込めなくなり、ごみ収集上重大な障害を招きます。

◆「弁当・食品がら」と「他の不燃ごみ」とは分別を!



なるため分別して袋に集めておきましょう。これだけで、収集運搬事業者は処分場に適合する不燃ごみを持ち込むことができます。皆さん、公園での不燃ごみの分別に、ご協力をお願いします。

小学生による公園改造プロジェクト

—明るくきれいになったりんご公園—

多摩川二丁目児童公園／多摩川二丁目みどりの会

「りんご公園」の愛称で親しまれる多摩川二丁目児童公園。この公園を大田区立矢口小学校の6年生83名の児童たちが、「矢口の町に役立つものづくり」という学習の中で、よく改造しようと、「りんご公園改造プロジェクト」に取り組みました。



カラフルなベンチを製作中

私たちが活動している多摩川二丁目児童公園は「りんご公園」の愛称で親しまれています。矢口小学校6年生の子もたちが、公園を改造したいと言ってきたのは、昨年6月頃のことでした。遊具や壁に色を塗り、手作りのベンチを設け、よりよい公園にしたいとのことでした。喜んでふれあいパーク活動のメンバー皆で協力しようと話し合いました。



プロジェクトの皆でパチリ!

10月頃から色塗りやベンチ作りをしたところ、見違えるほど、明るくきれいな公園になりました。その効果なのか、悩みのタネの園内に捨てられたゴミが、今までの半分程度に減りました。3月初旬には子どもたちにより花壇もつくられました。これらは、バトンを受け継ぎ多摩川二丁目みどりの会で管理していきます。このプロジェクトに取り組んだ子どもたちが大きくなっても、いつまでも忘れずに遊びにきてくれるように思います。(多摩川二丁目みどりの会会長 益子 博)